

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立茨田高等学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	・ 中退者0をめざす ・ 授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の項目について4段階の数値を3.5ptまで向上させる。
計画名	「みんなで卒業プロジェクト」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1 学力の向上（学ぼうとする力の育成） （1）本校生徒にとって『授業のユニバーサルデザイン化』『楽しい授業』『規律ある授業』が行えるように、教員の授業力を向上させる。 ウ ICTを活用し、授業改善と業務軽減を行う。 （3）生徒一人ひとり進路目標に合った学力（それぞれの学力）を育成する。 ア 義務教育段階の学力修得を目的とした茨田検定（振り返り学習）・「基礎教養講座」や、習熟度別授業、補習などの内容を充実させる。
事業目標	「ICTを使った授業改善」を進め生徒のやる気を引き出し、平成28年度45名いる中退者を3年後に0にする。また、年度末の成績不振による留年者を0にする。（平成28年度は22名）具体的には「授業のユニバーサルデザイン化」や、「茨田検定」でICTを取り入れ、基礎学力の向上をめざす。また、本校で増加傾向にある外国籍の生徒も含めたすべての生徒にとってわかりやすいICTを活用したユニバーサルデザインの授業の充実を図る。 授業アンケート「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」の数値を3.5ptまで向上させる。（平成28年度3.26pt）
整備した 設備・物品	液晶プロジェクター18台（普通教室）、掛け金具18台、設置工事費、 Wi Via（Wi fi）3セット（各階）、HDMI ケーブル（3m）
取組みの 主担・実施者	主担：「みんなで卒業プロジェクトチーム」 取組みの実施者：全教員の8割以上を予定
本年度の 取組内容	* 放課後学習の茨田検定の解答・解説画像を作成し、プロジェクターを使用して解答・解説を行う。 * 授業力向上ユニット研修において、研究授業の観点項目に「ICTの活用」を設定し、効果的な活用法などを討議。

	<p>* 授業における活用方法（ソフトウェア、接続方法など）についての研修および情報共有資料を作成。</p>
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<p>①授業や茨田検定でのプロジェクターの活用率 ②授業アンケート「授業内容に興味・関心を持つことができた」の数値 ③中退者数および中退率（前年度比 50%減） ④成績不振による留年数（前年度比 50%減）中退者を 0 名にする。また、年度末の成績不振での留年生を 0 名にする。</p>
<p>自己評価</p>	<p>①授業でのプロジェクター活用率は 98%。そのうち授業全般に渡って使用しているのは 2 割程度。授業内容に応じてプロジェクターの使用・非使用を使い分けている。……（○） ②授業アンケート「授業内容に興味関心を持つことができた」の数値は 3.24 であった。 （H29=3.34、H30=3.34、R1=3.24、目標=3.5）……………（△） ③中退率…11.3%（前年度比 9%増）（H29=13.9%、H30=10.3%、R1=11.3%）…（△） ④成績不振による留年数は、28 であった。（前年度比 52%減）……………（◎） （H29=70、H30=58、R1=28）</p> <p>【この事業により効果が上がったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> * ICT を活用したわかりやすい授業づくりができるようになった。 * 多くの授業者が ICT を活用した授業づくりをするようになった。（活用率と活用法の情報共有） * 成績不振による留年数が半減した。
<p>事業のまとめ</p>	<p>【この事業を通じての今後の取組みについて】</p> <p>ICT 教材の工夫や活用法のバリエーションを増やしていくことで、どの授業においても効率的・効果的な ICT の活用を実践することができる。特に効率的・効果的な ICT の活用には、PC とプロジェクターの無線接続環境が必要である。無線接続により、ICT 活用の幅が広がると考えるからである。</p> <p>この事業について、初期に設定した目標の達成と、さらなる活用を進めていく取組みをやっていきたい。</p>